

趣向の透瑠璃  
 子書  
 夜討曾根八舟  
 夜討曾根八舟

2378  
 289



四 天保五午春 新刻 目錄

菊壽童三編 全六册  
山棟庵京山作  
香蝶樓國貞画

國性谷合口戰 全六册  
歌川國貞画

夜討曾我人形製 全三册  
三亭春馬作  
香蝶樓國貞画

菅原傳授手習紙 全六册  
歌川國貞画

歌祭文縁合奏 全四册  
式亭小三馬作  
香蝶樓國貞画

三國志画傳 全八册  
針返告九作  
歌川國貞画

千代是神調富貴組 全四册  
柳亭種彦校合繪  
歌川國貞画

安達原筆 全一册  
香蝶樓國貞画

美艶仙女香包 全一册  
歌川國貞画  
榮久堂 池本 錦繪問屋 山本平吉 歌

上冊

夜討曾我

















のころかきまうすけの一人のこめと  
 むらあそびあむりすけのこめと  
 ちかひのこめと上りかきまうすけの  
 けいけいのこめとこのこめと  
 むらあそびあむりすけのこめと  
 このこめと上りかきまうすけの  
 けいけいのこめとこのこめと  
 むらあそびあむりすけのこめと  
 このこめと上りかきまうすけの  
 けいけいのこめとこのこめと  
 むらあそびあむりすけのこめと  
 このこめと上りかきまうすけの  
 けいけいのこめとこのこめと



のころかきまうすけの一人のこめと  
 むらあそびあむりすけのこめと  
 ちかひのこめと上りかきまうすけの  
 けいけいのこめとこのこめと  
 むらあそびあむりすけのこめと  
 このこめと上りかきまうすけの  
 けいけいのこめとこのこめと  
 むらあそびあむりすけのこめと  
 このこめと上りかきまうすけの  
 けいけいのこめとこのこめと  
 むらあそびあむりすけのこめと  
 このこめと上りかきまうすけの  
 けいけいのこめとこのこめと









春馬作  
國貞画



春馬作の  
國貞画の  
名古屋  
詠染遠山鹿子

春馬作の  
國貞画の  
名古屋  
詠染遠山鹿子

春馬作の  
國貞画の  
名古屋  
詠染遠山鹿子



不破  
名古屋

詠染遠山鹿子

第六編  
六冊大尾



帶題の遠山鹿子の初春の鹿子から見えはる  
趣に書はる午の新駭靴を如く天誦よこそ起はれ  
て乗せられる午の新駭靴を如く天誦よこそ起はれ

花姿霞段馬繪四門讀切

物の流行次第にて短の讀切り長味あるは古き  
花火宮鳥の行儀を道具の怪談小  
解かたり化物の行儀を道具の怪談小

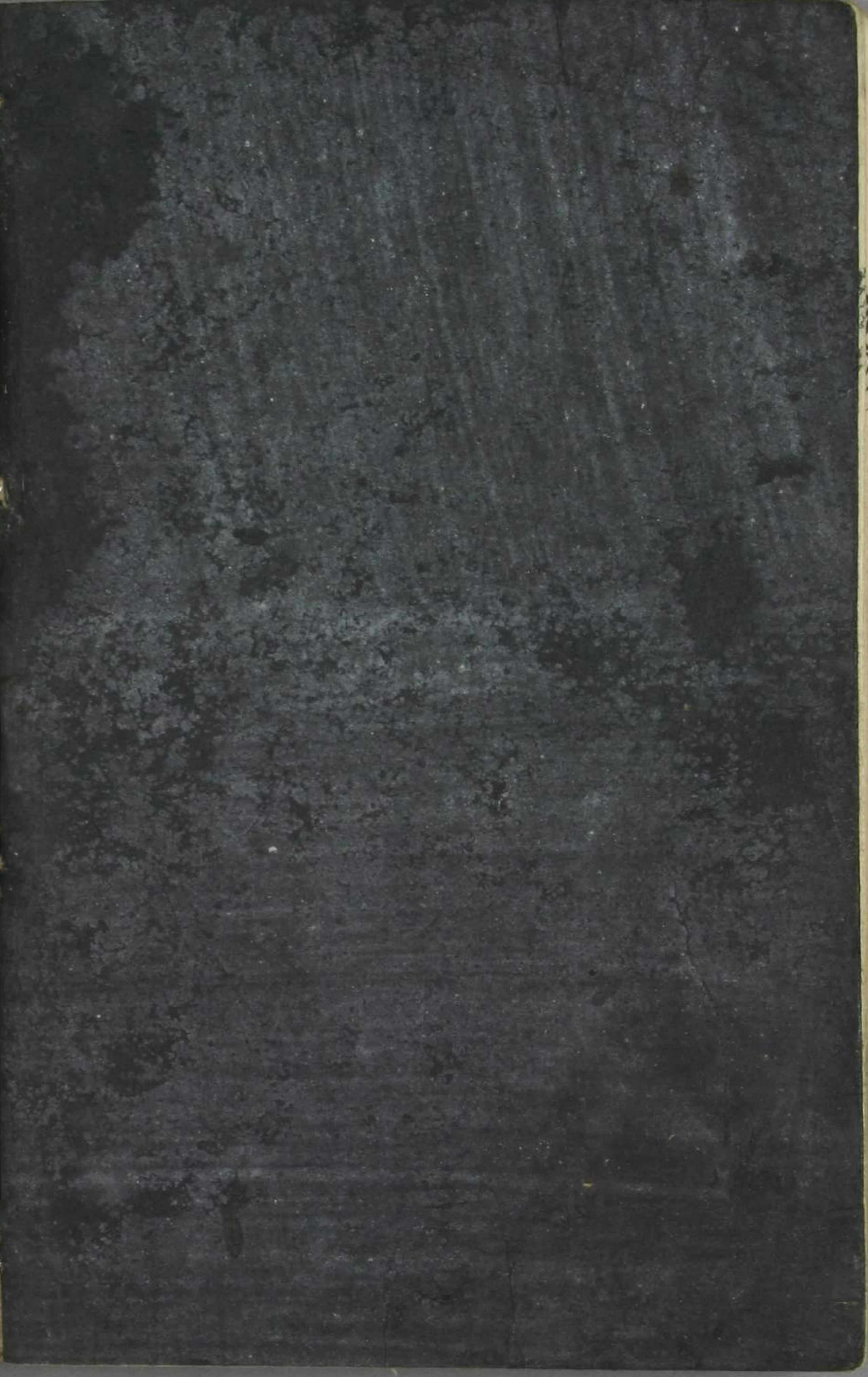
右二種画入歌川國貞

作者

歌川國貞

繪雙紙東錦繪問屋 芳町川岸惣角橋角 山本平吉口版

中冊







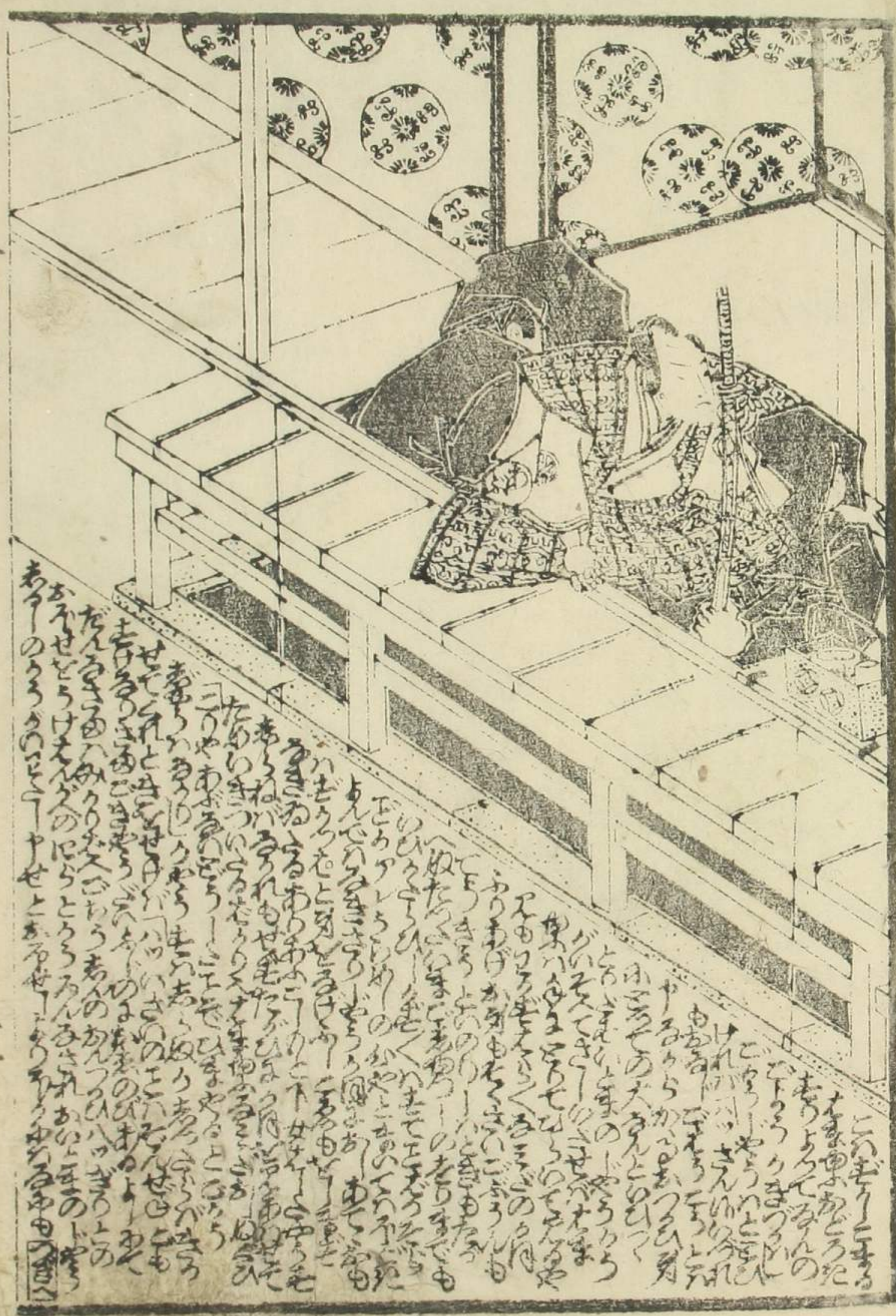












おんせくらけえん...  
 せんせのうらな...  
 ...  
 ...  
 ...



たの 鋪屋二の図

うらな...  
 ...  
 ...

おのま...  
 ...











春馬作  
國貞画

不 破  
名 古 屋  
詠 染 遠 山 鹿 子  
第 六 編  
六 冊 大 尾

標題の遠山鹿子の年初春の暇かたれお見じあひ枯るる  
菊の杜若小池くさるるも本意をうけかたれあはるる  
趣に書はるるこの春山板まきりしが例の作者乃のらくらふ  
て乗をけるる午の朝駭靴をけかたれと大講よこそ走はれけれ

花姿 東段馬 繪 四冊讀切  
此語の小イノルラニマアリ

物の流行次第にて短の讀切  
花火宮鳥の引道  
解かたり他物の行烈牛を年  
山口 悦  
の春入申候

右二種画人歌川國貞 作者 軒亭種彦

繪雙紙東錦繪問屋 芳町川岸惣角橋角 山本平吉版

下冊



玉貞

春馬

玉貞





みせよくさしあさる  
 トさんよこあさる  
 のらうこれいあけ  
 不ちまけま  
 あさる西ゆ  
 下の大  
 あいささる  
 ねんもをん  
 かくとさる  
 ちやのあ  
 ちやうつ  
 らららら

あつりけりや女  
 上はありのやん  
 それをひきさる  
 やまきよか  
 あつりひま  
 さたへまはれ  
 たのし  
 そのま  
 うつてか  
 りさる  
 うけさる  
 とげよ  
 中



あつりけりや女  
 上はありのやん  
 それをひきさる  
 やまきよか  
 あつりひま  
 さたへまはれ  
 たのし  
 そのま  
 うつてか  
 りさる  
 うけさる  
 とげよ  
 中

あつりけりや女  
 上はありのやん  
 それをひきさる  
 やまきよか  
 あつりひま  
 さたへまはれ  
 たのし  
 そのま  
 うつてか  
 りさる  
 うけさる  
 とげよ  
 中

目もあつたおれ...  
あつては...  
あつては...  
あつては...



田代...  
あつては...  
あつては...  
あつては...

あつては...  
あつては...  
あつては...  
あつては...



あつては...  
あつては...  
あつては...  
あつては...

あつては...  
あつては...  
あつては...  
あつては...

あつては...  
あつては...  
あつては...  
あつては...









【事】あるにや、大いなる其の...  
【事】あるにや、大いなる其の...  
【事】あるにや、大いなる其の...

【事】あるにや、大いなる其の...  
【事】あるにや、大いなる其の...  
【事】あるにや、大いなる其の...

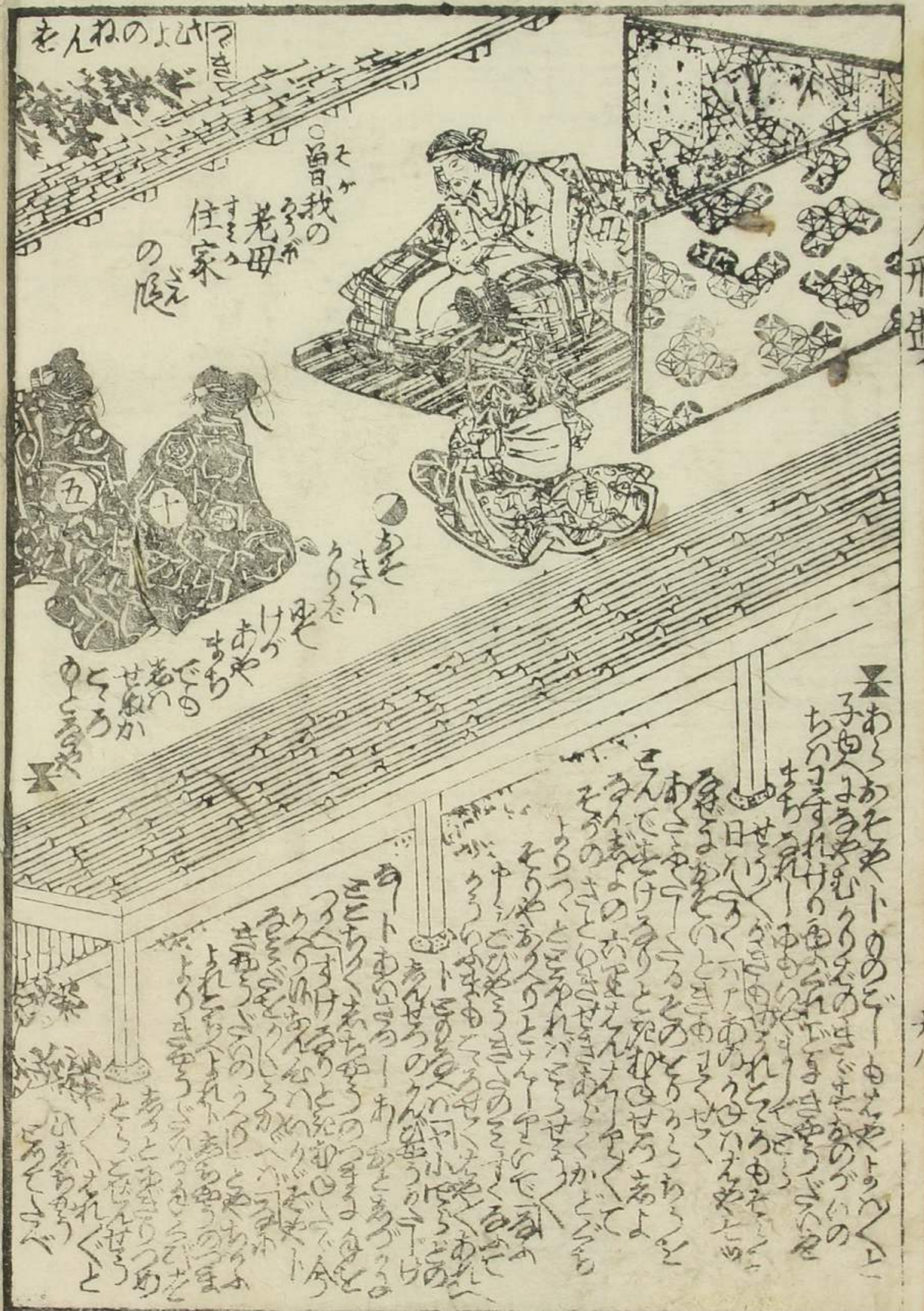
【事】あるにや、大いなる其の...  
【事】あるにや、大いなる其の...  
【事】あるにや、大いなる其の...

【事】あるにや、大いなる其の...  
【事】あるにや、大いなる其の...  
【事】あるにや、大いなる其の...

【事】あるにや、大いなる其の...  
【事】あるにや、大いなる其の...  
【事】あるにや、大いなる其の...

【事】あるにや、大いなる其の...  
【事】あるにや、大いなる其の...  
【事】あるにや、大いなる其の...





大正五年の秋、東京府下町に暮らす老母の住家。



天保五年春新刻目錄

<p>歌祭文縁合奏全四冊 香蝶樓國貞画</p>	<p>夜討曾找人形製全一冊 三亭春馬作</p>	<p>菊壽童三編全六冊 香蝶樓國貞画</p>	<p>國性谷人口歌全六冊 歌川國貞画</p>
<p>歌祭文縁合奏全四冊 香蝶樓國貞画</p>	<p>菅原傳授手寫紙全六冊 歌川國貞画</p>	<p>三國志画傳全八冊 歌川國貞画</p>	<p>山吹草子全一冊 香蝶樓國貞画</p>
<p>美艶仙女香一包 歌川國貞画</p>	<p>榮久堂 歌川國貞画</p>	<p>山吹草子 香蝶樓國貞画</p>	<p>山吹草子 香蝶樓國貞画</p>

歌川國貞画

此の巻は、歌川國貞の画、三亭春馬作の物語を描いたものである。三亭春馬は、江戸時代中期の著名な浮世草子作家であり、この巻には、彼の代表作の一つである「三亭春馬」の物語が描かれている。この巻には、三亭春馬の活躍する場面が描かれており、その様子が生き生きと表現されている。また、この巻には、三亭春馬の他の作品についても紹介されている。この巻は、歌川國貞の画と三亭春馬の物語とが融合した、非常に興味深いものである。



三亭春馬作

夜討曾我人形製

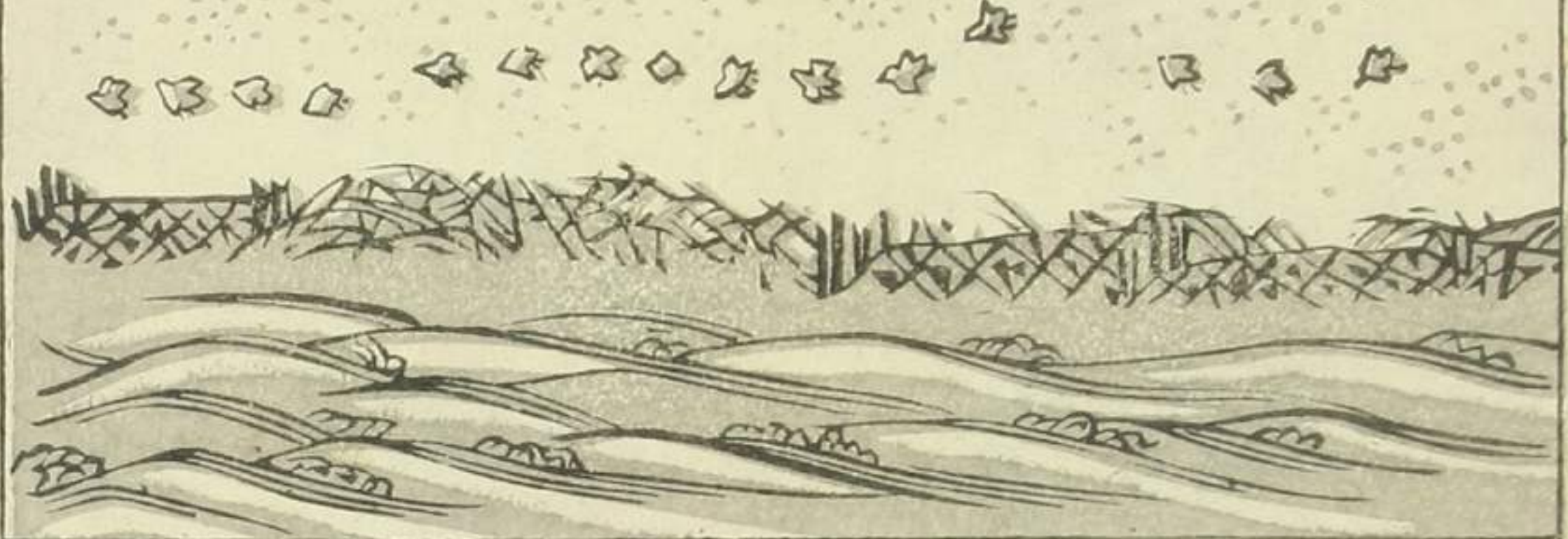


上編後

丁酉春新刊

炎榮文堂版

夜討 曾我 人形 製



三亭春馬作

香蝶樓國貞画

丁酉孟春新彫

後編上之卷

江戸芳町親仁橋角

山本平吉板

夜討曾我人形製後編序

其名の高き富士の根の御持よとも出づる是ハ曾我十郎祐成同五郎時宗木久丸討の物語よい去年の春前編六冊を出し今年其後編と次い程に全部まとりていあやつてあやの糸をならぬれどもいぬ筆の村子鳥あけの蝶の着け間もこれかゝの紋所をみるに家庵一押寄に誰書肆の使一時刻のいであらるゝ今春の内は稿幸とてい渡せと大音とていそれをも兼ねての覺悟をい置く草稿四冊にや面倒な真此通て年々いとも持ていせつと取出てい渡せとてい山本はいといとてい山本

天保八丁酉年孟春發行

三亭春馬戲述





曾我十郎孫五郎時次夜討圖

二五二八





1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

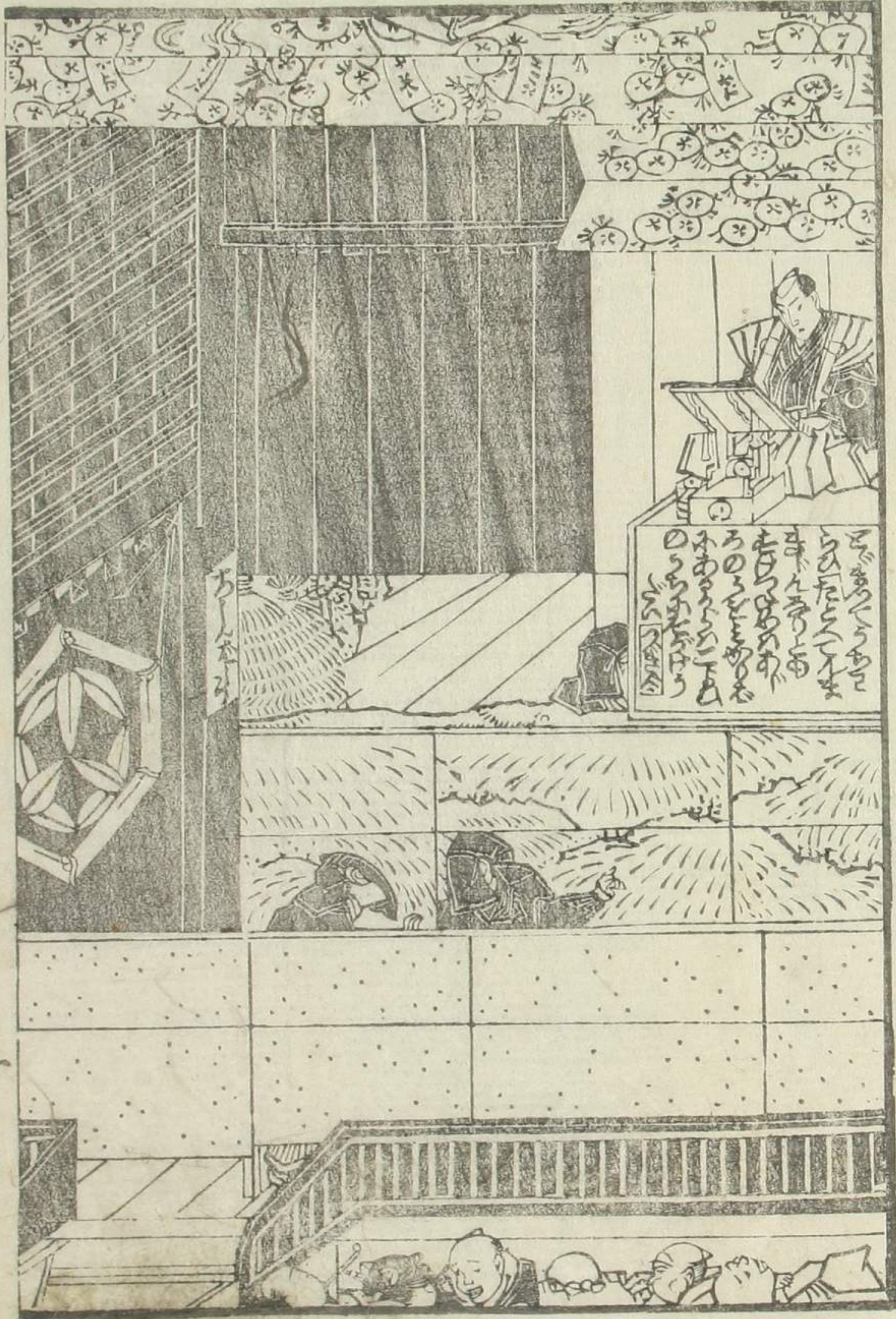


1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.



1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.



三十三  
[Caption] 三十三の夜  
[Text] 三十三の夜は、月が満ちて、松の影が長く伸びる。静寂の夜に、誰かの手が、静かに動く。



[Caption] 三十三の夜  
[Text] 三十三の夜は、月が満ちて、松の影が長く伸びる。静寂の夜に、誰かの手が、静かに動く。

三十三の夜は、月が満ちて、松の影が長く伸びる。静寂の夜に、誰かの手が、静かに動く。



三十三の夜は、月が満ちて、松の影が長く伸びる。静寂の夜に、誰かの手が、静かに動く。

三十三の夜は、月が満ちて、松の影が長く伸びる。静寂の夜に、誰かの手が、静かに動く。

三十三の夜は、月が満ちて、松の影が長く伸びる。静寂の夜に、誰かの手が、静かに動く。

三十三の夜は、月が満ちて、松の影が長く伸びる。静寂の夜に、誰かの手が、静かに動く。



Handwritten text in a vertical column on the top left of the right page.

Handwritten text in a vertical column on the middle left of the right page.

Handwritten text in a vertical column on the bottom left of the right page.



Handwritten text in a vertical column on the top left of the left page.

Handwritten text in a vertical column on the middle left of the left page.

Handwritten text in a vertical column on the bottom left of the left page.



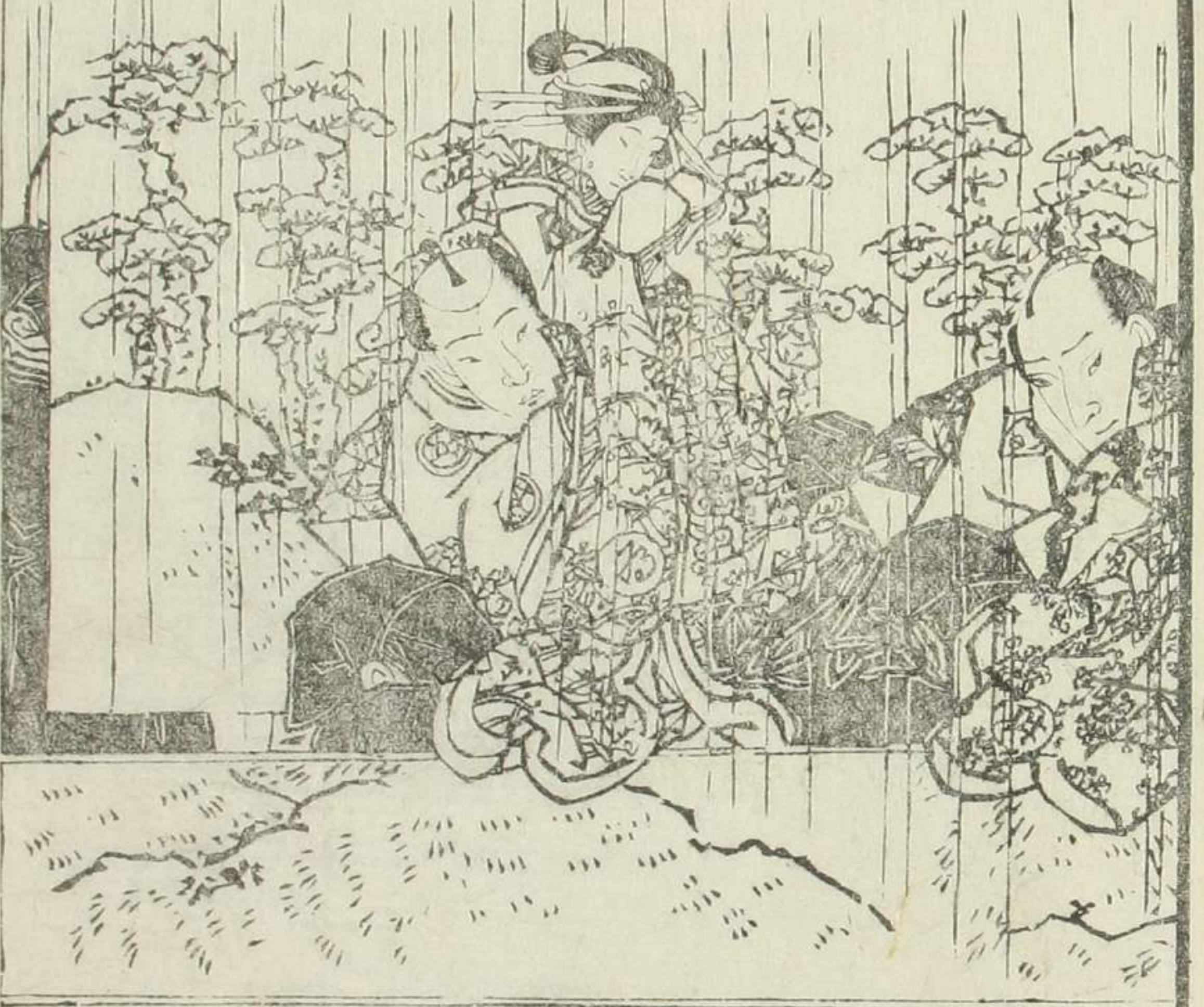
Vertical handwritten text on the far left margin of the left page.



此の世に  
 人の心は  
 雲の如く  
 水に流る  
 風の如く  
 草に揺る  
 月の如く  
 雲に隠る  
 花の如く  
 春に散る  
 雪の如く  
 冬に積る  
 朝の如く  
 霧に消る  
 夕の如く  
 霞に暮る  
 雨の如く  
 空に降る  
 雷の如く  
 雲を裂く  
 虹の如く  
 空を渡る  
 鳥の如く  
 空を飛ぶ  
 魚の如く  
 水を泳ぐ  
 虫の如く  
 土を這ふ  
 土の如く  
 石に固まる  
 火の如く  
 木を焼く  
 氷の如く  
 水を凍る  
 土の如く  
 石に変わる  
 火の如く  
 木に変わる  
 氷の如く  
 水に変わる  
 土の如く  
 石に変わる  
 火の如く  
 木に変わる  
 氷の如く  
 水に変わる  
 土の如く  
 石に変わる

此の世に  
 人の心は  
 雲の如く  
 水に流る  
 風の如く  
 草に揺る  
 月の如く  
 雲に隠る  
 花の如く  
 春に散る  
 雪の如く  
 冬に積る  
 朝の如く  
 霧に消る  
 夕の如く  
 霞に暮る  
 雨の如く  
 空に降る  
 雷の如く  
 雲を裂く  
 虹の如く  
 空を渡る  
 鳥の如く  
 空を飛ぶ  
 魚の如く  
 水を泳ぐ  
 虫の如く  
 土を這ふ  
 土の如く  
 石に固まる  
 火の如く  
 木を焼く  
 氷の如く  
 水を凍る  
 土の如く  
 石に変わる  
 火の如く  
 木に変わる  
 氷の如く  
 水に変わる  
 土の如く  
 石に変わる  
 火の如く  
 木に変わる  
 氷の如く  
 水に変わる  
 土の如く  
 石に変わる

此の世に  
 人の心は  
 雲の如く  
 水に流る  
 風の如く  
 草に揺る  
 月の如く  
 雲に隠る  
 花の如く  
 春に散る  
 雪の如く  
 冬に積る  
 朝の如く  
 霧に消る  
 夕の如く  
 霞に暮る  
 雨の如く  
 空に降る  
 雷の如く  
 雲を裂く  
 虹の如く  
 空を渡る  
 鳥の如く  
 空を飛ぶ  
 魚の如く  
 水を泳ぐ  
 虫の如く  
 土を這ふ  
 土の如く  
 石に固まる  
 火の如く  
 木を焼く  
 氷の如く  
 水を凍る  
 土の如く  
 石に変わる  
 火の如く  
 木に変わる  
 氷の如く  
 水に変わる  
 土の如く  
 石に変わる  
 火の如く  
 木に変わる  
 氷の如く  
 水に変わる  
 土の如く  
 石に変わる



此の世に  
 人の心は  
 雲の如く  
 水に流る  
 風の如く  
 草に揺る  
 月の如く  
 雲に隠る  
 花の如く  
 春に散る  
 雪の如く  
 冬に積る  
 朝の如く  
 霧に消る  
 夕の如く  
 霞に暮る  
 雨の如く  
 空に降る  
 雷の如く  
 雲を裂く  
 虹の如く  
 空を渡る  
 鳥の如く  
 空を飛ぶ  
 魚の如く  
 水を泳ぐ  
 虫の如く  
 土を這ふ  
 土の如く  
 石に固まる  
 火の如く  
 木を焼く  
 氷の如く  
 水を凍る  
 土の如く  
 石に変わる  
 火の如く  
 木に変わる  
 氷の如く  
 水に変わる  
 土の如く  
 石に変わる  
 火の如く  
 木に変わる  
 氷の如く  
 水に変わる  
 土の如く  
 石に変わる

Handwritten text in vertical columns at the top of the right page, likely serving as a title or introductory commentary for the scene below.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the right page, providing commentary or dialogue related to the illustration above.

Handwritten text in vertical columns at the top of the left page, likely serving as a title or introductory commentary for the scene below.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the left page, providing commentary or dialogue related to the illustration above.



天保八年丁酉年孟春新種史

國貞画春馬作

此の巻のあらわすもまた、  
 ひのあめのおもひをあらわして、  
 むすんでくるる女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい



この巻のあらわすもまた、  
 ひのあめのおもひをあらわして、  
 むすんでくるる女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい

この巻のあらわすもまた、  
 ひのあめのおもひをあらわして、  
 むすんでくるる女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい  
 りて、いそがしき女もあつたのちをい

東海道五拾二驛 鶴屋南北作  
 二編四冊

忠孝 柳蔭古着新店 五雲亭貞秀画  
 全四冊

夜討曾我 香蝶樓因貞画  
 全四冊

柳蔭古着新店 五雲亭貞秀画  
 全四冊

新壽童二編 香蝶樓因貞画  
 全六冊

安達原筆操 香蝶樓因貞画  
 全七冊

總目赤繩取組 香蝶樓因貞画  
 全六冊

人形手新圖更紗 香蝶樓因貞画  
 全六冊

美艶仙女香 香蝶樓因貞画  
 全六冊

錦繪問屋 山本平吉画  
 全六冊

黒油美香香 香蝶樓因貞画  
 全六冊

錦繪問屋 山本平吉画  
 全六冊



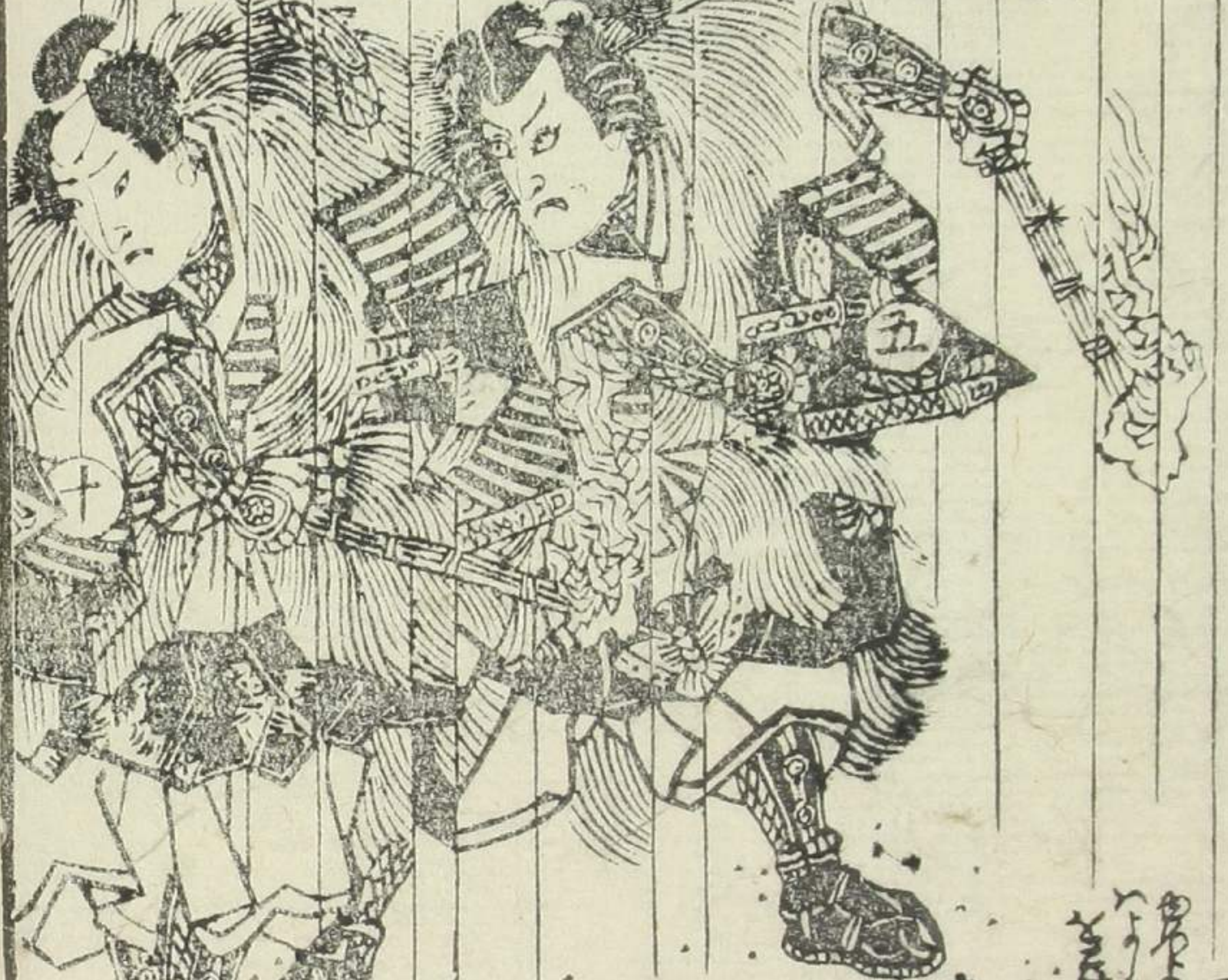
三亭春馬作  
香蝶樓圖貞画

後編下





○みよとらちをちんちん  
 おあつたおあつたおあつた  
 けいりぬれぬれぬれぬれぬれ  
 ひよひよひよひよひよひよひよ  
 こゝろをわらわらわらわらわら  
 おははははははははははははは  
 ひまはははははははははははは  
 こゝろをわらわらわらわらわら  
 おはははははははははははは



○みよとらちをちんちん  
 おあつたおあつたおあつた  
 けいりぬれぬれぬれぬれぬれ  
 ひよひよひよひよひよひよひよ  
 こゝろをわらわらわらわらわら  
 おははははははははははははは  
 ひまはははははははははははは  
 こゝろをわらわらわらわらわら  
 おはははははははははははは

○みよとらちをちんちん  
 おあつたおあつたおあつた  
 けいりぬれぬれぬれぬれぬれ  
 ひよひよひよひよひよひよひよ  
 こゝろをわらわらわらわらわら  
 おははははははははははははは  
 ひまはははははははははははは  
 こゝろをわらわらわらわらわら  
 おはははははははははははは



○みよとらちをちんちん  
 おあつたおあつたおあつた  
 けいりぬれぬれぬれぬれぬれ  
 ひよひよひよひよひよひよひよ  
 こゝろをわらわらわらわらわら  
 おははははははははははははは  
 ひまはははははははははははは  
 こゝろをわらわらわらわらわら  
 おはははははははははははは



此の物語は、昔の事だといふが、  
 今もその風習が残つてゐる。  
 昔は、この様な舞を、  
 祭りの時に行つた。  
 舞の人は、  
 特別な衣装を  
 着て、  
 舞臺の上で  
 舞つた。  
 舞の人は、  
 特別な髪型を  
 して、  
 舞臺の上で  
 舞つた。  
 舞の人は、  
 特別な髪型を  
 して、  
 舞臺の上で  
 舞つた。

この舞は、昔の事だといふが、  
 今もその風習が残つてゐる。  
 昔は、この様な舞を、  
 祭りの時に行つた。  
 舞の人は、  
 特別な衣装を  
 着て、  
 舞臺の上で  
 舞つた。  
 舞の人は、  
 特別な髪型を  
 して、  
 舞臺の上で  
 舞つた。  
 舞の人は、  
 特別な髪型を  
 して、  
 舞臺の上で  
 舞つた。



此の物語は、昔の事だといふが、  
 今もその風習が残つてゐる。  
 昔は、この様な舞を、  
 祭りの時に行つた。  
 舞の人は、  
 特別な衣装を  
 着て、  
 舞臺の上で  
 舞つた。  
 舞の人は、  
 特別な髪型を  
 して、  
 舞臺の上で  
 舞つた。  
 舞の人は、  
 特別な髪型を  
 して、  
 舞臺の上で  
 舞つた。

この舞は、昔の事だといふが、  
 今もその風習が残つてゐる。  
 昔は、この様な舞を、  
 祭りの時に行つた。  
 舞の人は、  
 特別な衣装を  
 着て、  
 舞臺の上で  
 舞つた。  
 舞の人は、  
 特別な髪型を  
 して、  
 舞臺の上で  
 舞つた。  
 舞の人は、  
 特別な髪型を  
 して、  
 舞臺の上で  
 舞つた。

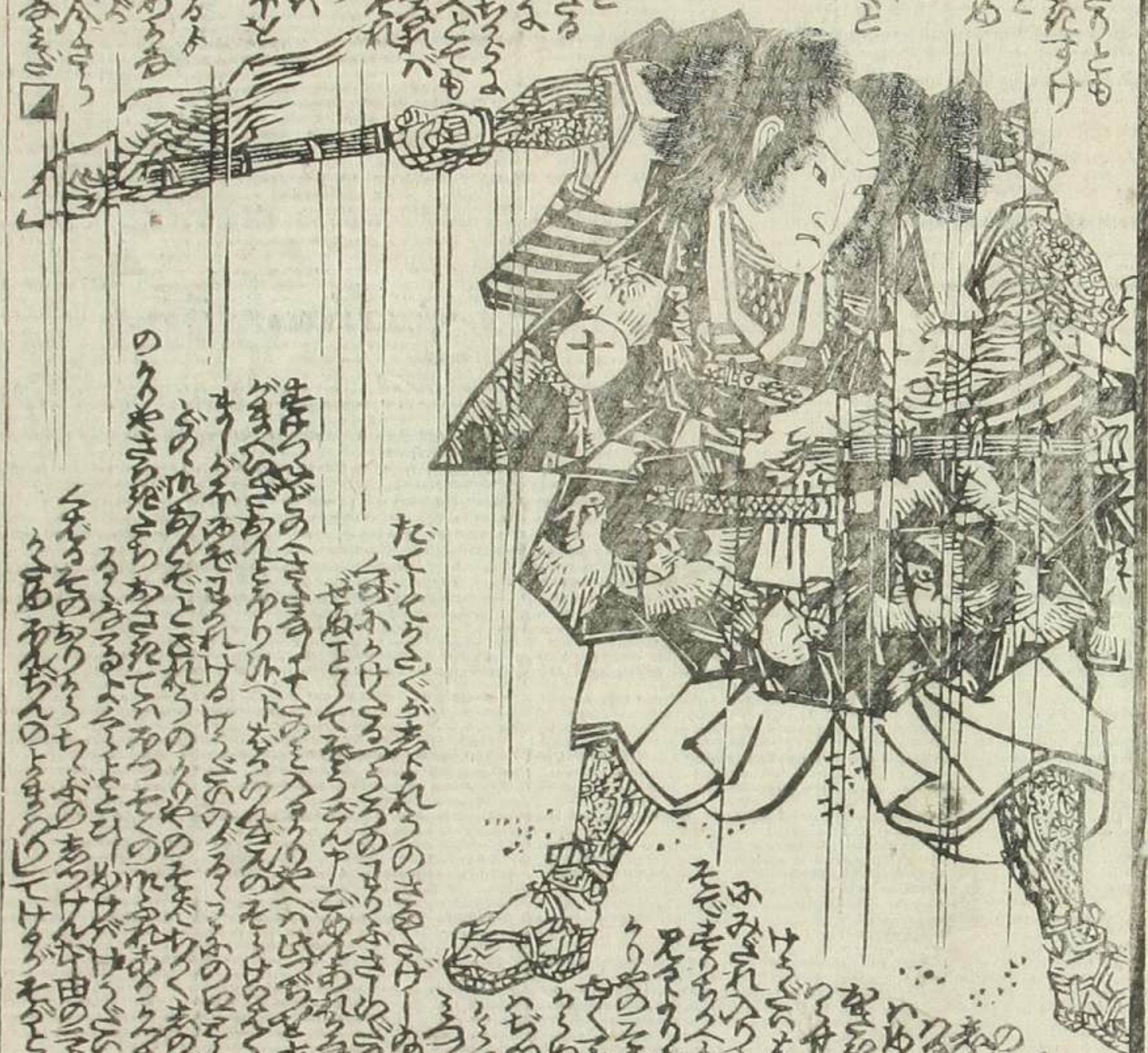
ついでにそのついでにさきかたのてそいふはた  
 これもたまたまあつたのちうかたけあはさう  
 ついでにそのついでにさきかたのてそいふはた  
 これもたまたまあつたのちうかたけあはさう  
 ついでにそのついでにさきかたのてそいふはた  
 これもたまたまあつたのちうかたけあはさう  
 ついでにそのついでにさきかたのてそいふはた  
 これもたまたまあつたのちうかたけあはさう



ついでにそのついでにさきかたのてそいふはた  
 これもたまたまあつたのちうかたけあはさう  
 ついでにそのついでにさきかたのてそいふはた  
 これもたまたまあつたのちうかたけあはさう

ついでにそのついでにさきかたのてそいふはた  
 これもたまたまあつたのちうかたけあはさう  
 ついでにそのついでにさきかたのてそいふはた  
 これもたまたまあつたのちうかたけあはさう

ついでにそのついでにさきかたのてそいふはた  
 これもたまたまあつたのちうかたけあはさう  
 ついでにそのついでにさきかたのてそいふはた  
 これもたまたまあつたのちうかたけあはさう



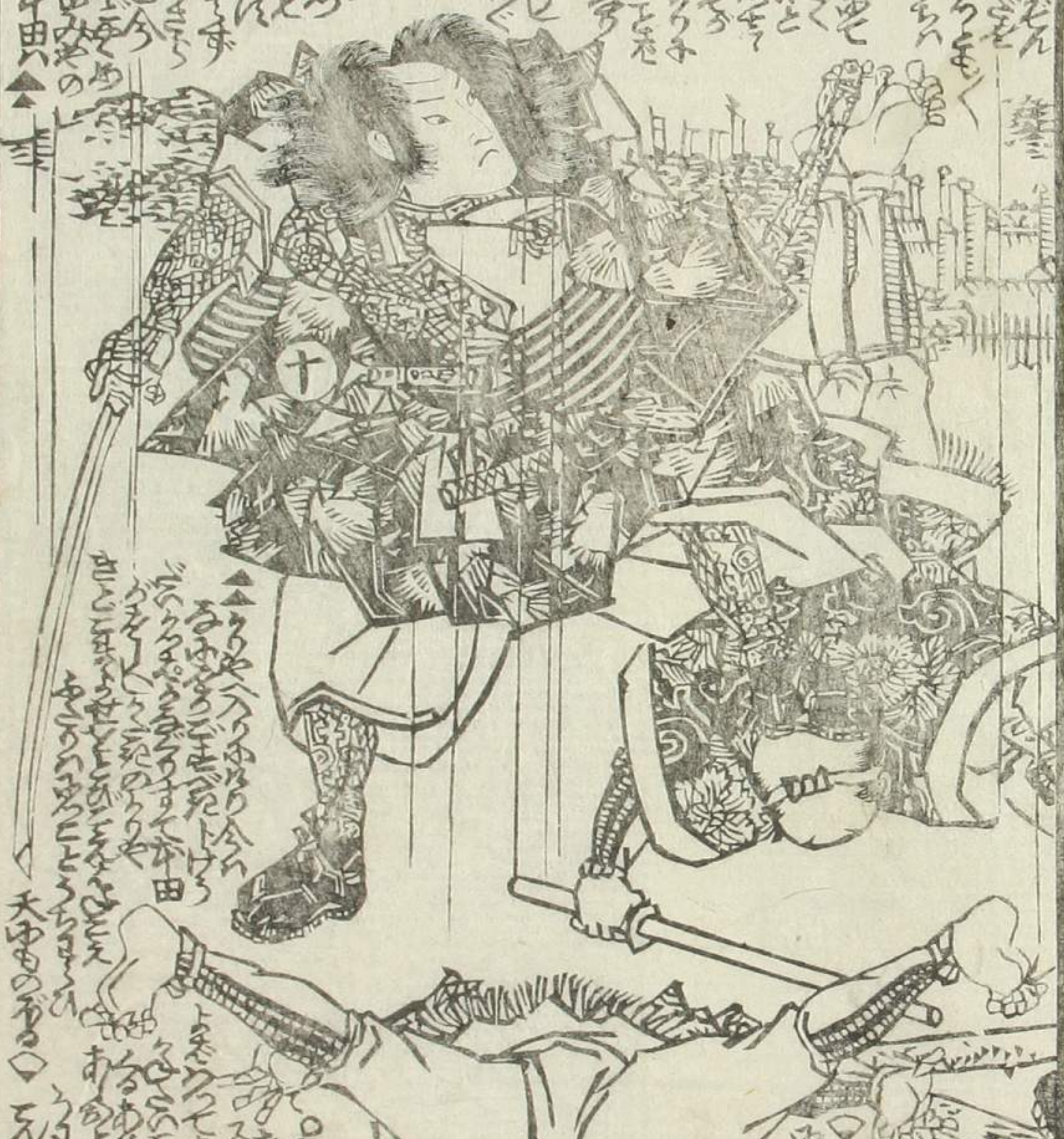
ついでにそのついでにさきかたのてそいふはた  
 これもたまたまあつたのちうかたけあはさう  
 ついでにそのついでにさきかたのてそいふはた  
 これもたまたまあつたのちうかたけあはさう

三ノ巻の...  
本ノ二ノ巻の...  
...



...

三ノ巻の...  
本ノ二ノ巻の...  
...



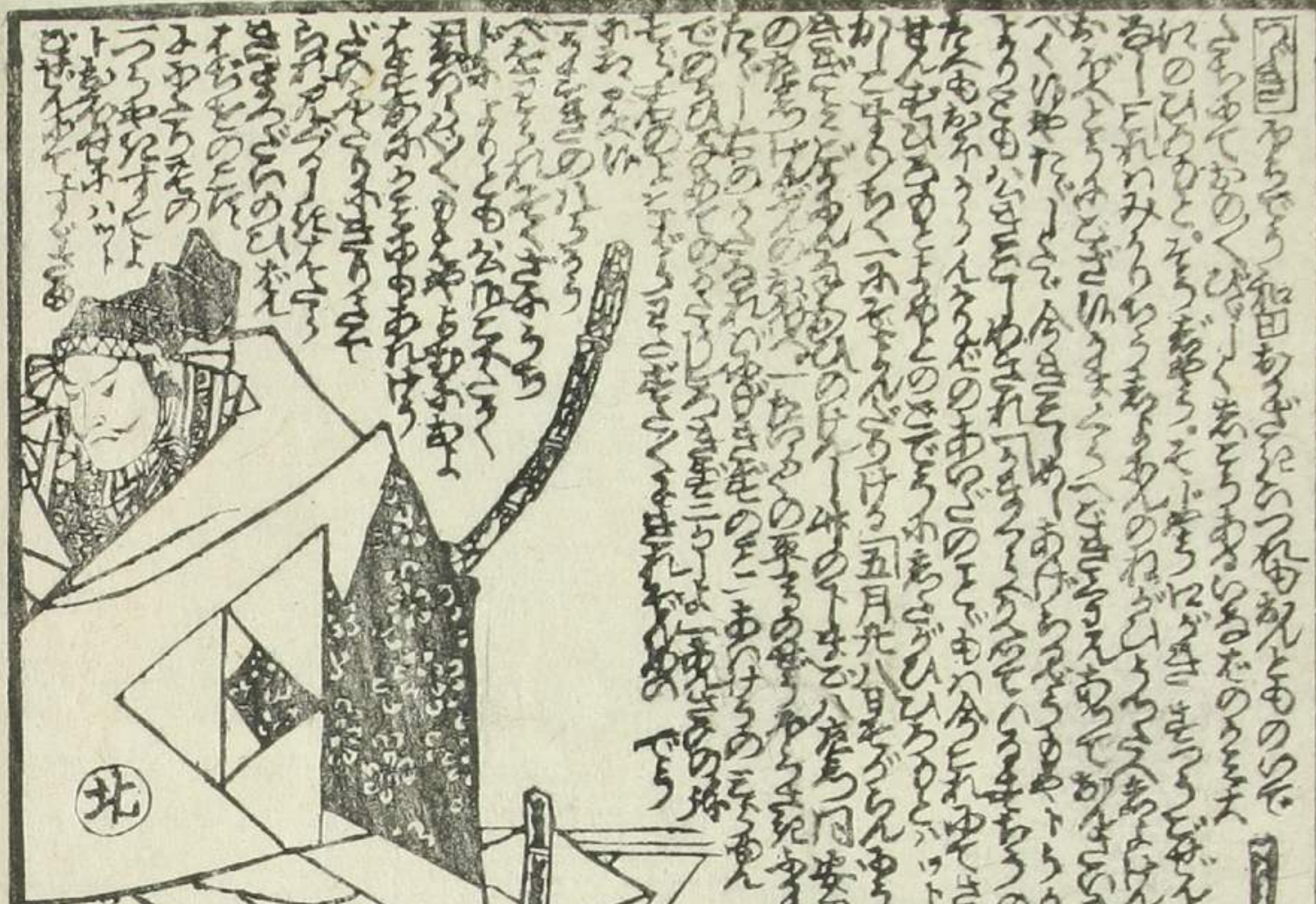
...







昔もあつてもちのつねに...  
 一つわが...  
 一つわが...  
 一つわが...  
 一つわが...



一つわが...  
 一つわが...  
 一つわが...  
 一つわが...

昔もあつてもちのつねに...  
 一つわが...  
 一つわが...  
 一つわが...  
 一つわが...



一つわが...  
 一つわが...  
 一つわが...  
 一つわが...

わが国に... 西の國より... 舟をなげ...



船に乗り... 舟に乗り... 舟に乗り...



舟に乗り... 舟に乗り... 舟に乗り...

天保八年丁酉年春新史

天保八年丁酉年春新史  
三月八日見  
美輪仙舟香  
黒川屋  
坂本氏  
...

東海道五拾二驛  
鶴屋南北作  
編四冊

夜討曾我  
香蝶樓國貞画  
後編  
式亭小三馬作

菊壽童二編  
香蝶樓國貞画  
全六冊

總目赤繩取組  
全六冊  
香蝶樓國貞画

美艶仙女  
香蝶樓國貞画  
全六冊

三亭春馬作  
香蝶樓國貞画



忠孝  
里望春亭柳磨作  
全四冊

柳蔭古着新店  
五雲亭貞秀画  
全四冊

安達原筆  
香蝶樓國貞画  
全十冊

新圖更紗  
香蝶樓國貞画  
全十冊

地本錦繪問屋  
山本平吉版

